



持続的調

- 関連事項
- 所在地
 - 敷地形状
 - 既存物件
 - 埋設物
 - 周辺道路
 - 状況
 - 都市計画
 - 地区地域
 - 防火準防
 - 関連法規
 - 地盤調査
 - 地耐力
 - 常水面
 - 特殊荷重
 - 用途
 - 立地条件
 - 企画意図
 - 経営企画
 - 規模
 - 構造
 - 将来計画
 - 仕上
 - 外溝
 - ガス電気
 - 上下水道
 - 浄化槽
 - 空調換気
 - 特殊設備
 - 工事費
 - 工期
 - 見積形式
 - 契約
 - 別途工事
 - 支給材
 - 指定材
 - 施工組織
 - 施工計画
 - 仮設
 - 工程
 - 安全
 - 竣工
 - 維持
 - 諸手続
 - 社内手続

生活のあらゆるシーンで私にはベクターワークスが役立っています。

建築・設備・構造・プラント・インテリアデザイン・店舗設計・展示会ブースデザイン・機械設計・電気設計・電子設計・基盤設計・造園計画・宅地計画・工業デザイン・都市計画・オフィスレイアウト・テクニカルイラストレーション・グラフィックデザイン・ファシリティマネジメント・各種プレゼンテーション・パース制作など・・・の用途が考えられます。

左図のような建築シーンでは、プレゼンテーション、施工詳細図面、カラースキムボードなどが従来の主な活躍の場でしょうけれど・・・

たとえば、地盤調査の結果や建築物の力の流れを入力すると構造check出来たり、NGがあると構造3Dの問題のある箇所が赤く点滅したり、ベタ基礎の配筋を自動的に図面化できたり、たとえば、あるコンペの諸条件を入力すると（要望的、法的にも）形体ができて、ある作家風に入力すると有名建築家の定番のディテール風のものが出来上がったりするかもしれません。そんなことが出来たりするとコンペ入賞もかなりの確率で可能かもしれません。断片的には、上記のことは全網羅的に可能なのかもしれませんが。

しかし、それぞれのシーンでそれぞれのことを熟知してないと出てきた結果を検証できません。手計算できるけど、またいろんな詳細は描けるけどスピードを要するから自動化するというか、CADの機能を目一杯利用しているんだ、という

姿勢が必要だと思います。

※ ファシリティマネジメント
効率的な活動を行えるように、建築物の設備・人員組織などを総合的に管理すること。

※ カラースキムボード
床材、壁材、クロス、設備などの色サンプルをたとえば、部屋毎にまとめられたもの。



ちょうど <私流の使い方> も一年になりました。区切りがいいのでやめたいと思います。長い間お付き合い頂きありがとうございました。